

キュウシュウ ダイガク ヒャクネンシ ダイ5カン : ブキョクシヘン 2

九州大学百年史編集委員会

<https://doi.org/10.15017/1547170>

出版情報 : 九州大学百年史. 5, 2015-12-25. Kyushu University
バージョン :
権利関係 :



九州大学百年史 第5巻 部局史編Ⅱ 目次

序

凡例

第9編 理学府・理学部・理学研究院

第I部 通史

第1章 理学部の創設（1918～1941年）……………9-3

第1節 理学部創設運動と理学部の創設……………9-4

(1) 創設運動の開始……………9-4

(2) 創設運動の展開……………9-4

(3) 理学部の創設決定・体制整備……………9-9

第2節 理学部の創設期……………9-11

(1) 創設当時の教育と研究……………9-11

教員陣容 教育 研究

(2) 創設時の環境整備……………9-13

建物 附属施設 資金（寄付金など）

第2章 戦時下の理学部（1941～1945年）……………9-15

(1) 戦時下の教育と研究……………9-15

教育 講座 研究 研究業績の出版

(2) 戦時下の環境……………9-17

建物 附属施設 疎開

第3章 戦後改革と理学部（1945～1960年）……………9-19

第1節 終戦から新制大学切替えまで（1945～1949年）…9-19

教育 組織 学科の新設・講座の増設 研究 建物および敷

地

第2節	新制大学発足とその後（1949～1960年）	9-22
(1)	新制理学部における教育と研究	9-22
	学校体系に対する改編 学生定員 学科および講座 研究業績 の出版	
(2)	新制理学部の環境整備	9-24
	建物 移転計画 施設	
第4章	高度成長期の理学部（1960～1973年）	9-27
(1)	教育と研究の充実	9-27
	学部教育 講座の増設	
(2)	環境整備	9-28
	建物の整備 施設	
第5章	成熟期の理学部（1973～1994年）	9-31
(1)	教育と研究の充実	9-31
	教育 講座の増設 学科名称変更および学科の改組	
(2)	環境整備	9-33
	建物の整備 施設	
(3)	地質学科・物理学科の改組	9-33
第6章	理学府・理学研究院の発足、移転の準備 (1994年～)	9-37
第1節	教育と研究の充実	9-37
第2節	環境整備	9-38
第3節	教養部廃止と理学研究科の拡充	9-38
(1)	教養部問題と学部化構想の変遷	9-38
(2)	教養部廃止後の全学共通教育	9-40
(3)	教養部教員の再配置	9-40
第4節	大学院重点化と理学府・理学研究院の発足	9-41

大学院重点化の開始 物理学・化学専攻の再編 大学院重点化の
完了と理学府・理学研究院の発足

第5節 法人化と理学部 ……………9-45

第6節 理学府・理学部・理学研究院の特色ある

教育・研究 ……………9-46

(1) 大型プロジェクトによる教育・研究 ……………9-46

(2) 大学院教育プログラム ……………9-47

プログラム設置の背景 教育プログラムの概要

(3) 諸プログラムを活用した教育研究体制強化 ……………9-49

第7節 国際交流 ……………9-51

第8節 社会貢献 ……………9-52

サイエンスへのいざない オープンキャンパス(大学説明会) 自
然科学啓発事業 先端科学普及事業(高校への出張講義等) 先
端科学体験事業(高校生の体験入学等) 中等教育担当教員研修事
業 高校教育支援特別事業 未来の科学者養成講座「エクセレン
ト・スチューデント・イン・サイエンス 育成プロジェクト」

第9節 伊都キャンパスへの移転の準備 ……………9-54

第II部 学科・講座史

第1章 物理学教室 ……………9-69

第1節 教室の創設の経緯とその後の発展 ……………9-69

(1) 理学部創設から1990年ごろまで ……………9-69

(2) 1990年ごろから現在まで ……………9-71

地球惑星科学科の創設 教養部廃止 大学院重点化と3専攻体制
情報理学コースの設置 独法化と物理学専攻の復活

第2節 関連施設 ……………9-74

(1) タンデムバンデグラフ ……………9-74

(2) 極低温実験室	9-75
第3節 教育課程と学生生活	9-76
(1) 学部課程のカリキュラム	9-76
(2) 修士課程	9-79
(3) 博士課程	9-79
(4) 学生の関わる行事	9-80
第4節 社会貢献活動	9-80
(1) 高校生体験入学	9-80
(2) 世界物理年 2005 記念イベント	9-81
(3) 日本物理学会九州支部	9-82
(4) 主な受賞	9-82
第5節 講座の歴史	9-83
(1) 粒子宇宙論分野	9-83
素粒子理論研究室 理論核物理 (原子核理論) 研究室 宇宙物理 理論研究室	
(2) 粒子物理学分野	9-85
実験核物理研究室 (原子核実験グループ) 素粒子実験研究室	
(3) 物性基礎論分野	9-88
(4) 物性実験分野	9-90
磁性物理学研究室 量子微小物性研究室 低次元電子物性研究室 複雑物性基礎研究室 複雑流体研究室 構造物性研究室 極限 電子物性研究室	
(5) 地球物理系講座	9-92
第2章 化学教室	9-94
第1節 化学教室の創設とその後の発展経緯	9-94
第2節 研究活動	9-96

第3節 教育活動	9-98
(1) 学部・大学院入試制度	9-98
(2) 学部教育	9-99
(3) 大学院教育	9-100
第4節 社会貢献	9-101
第5節 化学教室の講座・研究室の歴史	9-102
(1) 無機化学	9-102
(2) 有機化学 (構造有機化学、分子触媒化学)	9-103
(3) 構造化学	9-104
(4) 物理化学 (界面物理化学)	9-105
(5) 分析化学 (溶液錯体化学、溶液化学)	9-106
(6) 生物化学 (構造機能生化学)	9-107
(7) 有機反応化学	9-108
(8) 放射化学 (状態解析化学)	9-110
(9) 量子化学	9-111
第I期 第II期	
(10) 高分子化学 (分散系物理化学)	9-112
(11) 錯塩化学 (錯体化学)	9-113
(12) 酵素化学 (生体情報化学)	9-114
(13) 物性化学	9-115
(14) 反応分析化学	9-116
(15) 計算化学 (理論化学)	9-116
(16) 有機合成化学 (物性有機化学)	9-117
(17) 触媒有機化学	9-117
(18) 無機反応化学	9-118
(19) 錯体物性化学	9-118

(20) 生物有機化学	9-118
(21) 量子生物化学	9-119
(22) 生体分子界面化学	9-119
(23) 膜非平衡化学	9-119
第3章 地球惑星科学教室	9-120
第1節 沿革	9-120
第2節 教育研究史概観	9-120
(1) 旧地質学科における教育研究	9-121
(2) 地球惑星科学科開設以降	9-123
第3節 特色のある学生支援	9-125
(1) 松本達郎教授による教育研究支援	9-125
(2) アカデミック・アドバイザー制度	9-126
第4節 教育カリキュラムの変遷	9-126
(1) 旧地質学科と旧地質学専攻のカリキュラム	9-126
旧地質学科カリキュラム	旧地質学専攻（修士課程）カリキュラム
(2) 地球惑星科学科開設以降のカリキュラム変遷	9-127
地球惑星科学科カリキュラム	地球惑星科学専攻（修士課程）カリ
キュラム	地球惑星科学専攻（博士後期課程）カリキュラム
第5節 講座・研究室史概観	9-129
(1) 流体圏・宇宙圏科学講座	9-129
太陽地球系物理学分野	宇宙地球電磁気学分野
中層大気科学分	
野	対流圏科学分野
地球流体力学分野	
(2) 固体地球惑星科学講座	9-133
固体地球惑星力学分野	地球内部ダイナミクス分野
岩石循環科	
学分野	地球進化史分野
古環境学分野	
(3) 太陽惑星系物質科学講座	9-139

初期太陽系進化学分野 有機宇宙地球化学分野 無機生物圏地球
化学分野 地球惑星物質科学分野

(4) 地震学・火山学講座 9-144

観測地震・火山学分野

(5) 地球惑星博物学講座 9-145

古生物学・鉱物学分野

第 4 章 数学教室 9-146

第 1 節 沿革 9-146

教室の沿革 新旧移転

第 2 節 入学試験・教育制度 9-148

(1) 入学試験 9-148

(2) カリキュラム 9-149

(3) 九重・島原研修旅行 9-151

(4) 卒業後の進路 9-151

第 3 節 社会貢献 9-152

(1) 公開講座 9-152

(2) 『理学部紀要』と『九州数学雑誌』 9-152

第 4 節 講座の歴史 9-153

(1) 代数学講座 9-153

(2) 幾何学講座 9-155

人事 初期幾何学グループの研究内容 1980 年代以降の研究内
容

(3) 解析学講座 9-158

沿革と人事 解析学講座で育った人脈 解析学講座の研究

(4) 関数解析学講座 9-159

(5) 位相数学講座 9-162

(6) 統計数学講座	9-164
(7) 計画数学講座	9-166
(8) 計算数学講座	9-168
(9) 数理解析学講座	9-170
(10) 組合せ数学	9-172
第5章 生物学教室	9-174
第1節 沿革	9-174
(1) 創設期と発展期 (1949～1990年頃)	9-174
(2) 変革期 (1991年頃～)	9-175
教養部廃止と細胞機能学講座の開設	大学院重点化と研究院制度の
導入	大学院システム生命科学府の開設
大学院システム生命科	学府への全面的移行
第2節 教育	9-176
(1) 学部教育	9-176
(2) 大学院教育	9-178
(3) 全学教育	9-178
第3節 卒業生・修了生	9-178
第4節 研究室小史	9-179
(1) 動物生理学研究室	9-179
(2) 染色体機能学研究室	9-182
(3) 発生生物学研究室	9-184
(4) 植物生理学研究室	9-185
(5) 生態科学研究室	9-187
(6) 分子遺伝学研究室	9-188
(7) 生体物理化学研究室	9-190
(8) 生体高分子学研究室	9-191

(9) 代謝生理学研究室	9-193
(10) 数理生物学研究室	9-194
(11) 細胞機能学研究室	9-196
(12) 進化遺伝学研究室	9-197
(13) 海洋生物学研究室	9-198
第6章 附属施設等	9-199
第1節 天草臨海実験所	9-199
(1) 沿革	9-199
(2) 実験所建物の改築と充実	9-202
(3) 実習・調査用船舶の変遷	9-203
(4) 学部・大学院教育活動	9-204
(5) 社会貢献	9-205
(6) 研究活動	9-206
第2節 福岡臨時教員養成所	9-210
第3節 理学研究院附属地震火山観測研究センター	9-212
(1) 沿革	9-212
(2) 研究活動	9-215
1990～1995 年雲仙普賢岳噴火に対する取り組み	雲仙科学掘削プロジェクト
2005 年福岡県西方沖地震に対する取り組み	警固断層帯（南東部）における重点的な調査観測
(3) 社会連携・アウトリーチ活動	9-219
第4節 基礎情報学研究施設	9-221
(1) 沿革と概要	9-221
沿革	部門内容
歴代施設長	教員
(2) 研究活動	9-225
研究方針・研究内容	受賞

(3) 教育活動	9-227
(4) 情報理学専攻への発展	9-227

第10編 数理学府・数理学研究院 産業技術数理研究センター

第1章 沿革

第1節 数理学研究科設置以前の数学教育

九州大学の数学教室 教養教育・専門教育への相互参画

第2節 「総合数理学研究科」設置構想

(1) 「数学部」構想

(2) 総合数理学研究科設置準備委員会

総合数理学研究科設置準備委員会の設置 総合数理学研究科設置準備委員会の改組

(3) 文部省との折衝

第3節 数理学研究科の創設

(1) 数理学研究科の創設

数理学研究科の構成と特長 「数理科学」ではなく、なぜ、「数理学」か？

(2) 大学院重点化と数理学研究科

(3) 学府・研究院制度の創設と伊都への移転

(4) 歴代研究院長（研究科長）等

研究院長 評議員 副研究院長 数理学専攻長・数学科長

第2章 教育

第1節 「サービス科目」としての数学授業と「数理学研究科」

..... 10-18

第2節 数学授業科目の編成

..... 10-20

第3節	大学院、主に修士課程における数学教育	10-22
第4節	博士（数理学）について	10-24
第5節	研究科発足時の若干の困難について	10-25
第3章	研究	10-27
第1節	代数	10-27
第2節	幾何・トポロジー	10-29
(1)	幾何	10-29
(2)	トポロジー	10-31
第3節	解析	10-32
(1)	複素解析	10-32
(2)	特殊関数・表現論	10-33
(3)	関数解析	10-34
第4節	応用解析	10-36
(1)	偏微分方程式	10-36
(2)	数値解析	10-37
(3)	応用数学	10-39
第5節	確率・統計	10-40
(1)	確率	10-40
(2)	統計	10-41
第4章	産業技術数理研究センター	10-43
第1節	設置の背景	10-43
第2節	機能数理学基盤センター	10-45
第3節	「産業技術数理研究センター」への改組	10-45
第4節	センターの活動	10-48
(1)	ワークショップとフォーラムの開催	10-48
(2)	企業との共同研究	10-49

(3) 長期インターンシップ支援事業	10-49
(4) 技術相談等	10-50
第5節 グローバル COE プログラム	10-50
第5章 九州数学雑誌	10-51
第1節 歴史	10-51
第2節 初期の理学部紀要と教養部雑誌	10-52
第3節 現在の九州数学雑誌	10-54

第11編 医学系学府・医学部・医学研究院

第1章 九州帝国大学医科大学時代	
(1911年4月～1919年3月)	11-3
第2章 九州帝国大学医学部時代	
(1919年4月～1947年9月)	11-7
第1節 創立25周年(1919年4月～1937年3月)	11-7
第2節 戦時下の医学部(1937年4月～1945年8月)	11-10
第3節 終戦、民主化・刷新運動	
(1945年8月～1947年9月)	11-11

生体解剖事件

第3章 九州大学医学部時代 その1	
(1947年10月～1978年3月)	11-14
第1節 復興から拡充へ	
(1947年10月～1963年3月)	11-14
(1) 新制九州大学の発足	11-14
(2) 学生・教職員の自治組織結成	11-15
(3) 『九大医報』の復刊、欧文医学雑誌の発刊	11-16
(4) 薬学科の設置	11-17

(5) 創立 50 周年事業	11-18
(6) 大学院設置と医学進学課程の新設	11-19
(7) 附属研究施設の拡充	11-20
(8) 附属図書館医学部分館の設置	11-21
(9) 臨床医学教育の改革	11-22

第 2 節 紛争乗り越え整備進む医学部

(1963 年 4 月～1978 年 3 月) 11-23

(1) 医学部と大学紛争	11-23
医学部学生ストライキと事務本館封鎖	機動隊導入、授業再開
(2) 無給医の廃止	11-25
(3) 医学部史跡保存委員会の設置	11-26
(4) 医学部建物の整備	11-27
(5) 講座の増設と入学定員の増加	11-28

第 4 章 九州大学医学部時代 その 2

(1978 年 4 月～1993 年 3 月) 11-29

第 1 節 拡充する研究体制

(1978 年 4 月～1983 年 3 月) 11-29

(1) 創立 75 周年	11-29
(2) 医学部建物の整備	11-30
(3) 小児外科学講座の開設	11-31
(4) 遺伝情報実験施設の設置	11-31
(5) 新医学図書館の開館	11-32
(6) 医学部研究業績集 <i>Collected Papers</i> の発刊	11-33
(7) 消えゆく明治・大正の木造建築物	11-33

第 2 節 先端医学研究への挑戦

(1983 年 4 月～1993 年 3 月) 11-35

- (1) 創立 80 周年 11-35
- (2) 医学研究科を医学系研究科に拡充改組 11-36
- (3) 統合教育研究実習センターの設置 11-37
- (4) 脳死問題と臓器移植 11-38
- (5) 第 1 次医学部学生カリキュラム改革 11-39

第 5 章 九州大学医学部時代 その 3

(1993 年 4 月～2012 年 3 月) 11-42

第 1 節 新時代の医学部への変革

(1993 年 4 月～2003 年 3 月) 11-42

- (1) 教養部（医進課程）廃止と第 2 次カリキュラム改革 11-42
- (2) 大学院重点化と医学系研究科の組織再編成 11-43
- (3) 大学院教育の改革 11-45
- (4) 自己点検・評価と外部評価 11-46
- (5) 学府・研究院制度の導入 11-47
- (6) 専門大学院「医療経営・管理学専攻」の新設 11-48
- (7) 医療技術短期大学部を医学部保健学科に改組 11-48
- (8) 同窓会による医学賞の制定 11-49
- (9) 福岡市で第 26 回日本医学会総会開催 11-49
- (10) 創立 100 周年 11-50

第 2 節 グローバル時代の医学部へ

(2003 年 4 月～2012 年 3 月) 11-52

- (1) 医学研究院の組織再編 11-52
- (2) 事務組織の再編 11-53
- (3) 次世代型研究・教育者養成の大学院教育改革 11-53
- (4) 生命科学科の設置 11-54
- (5) 医学科の第 3 次カリキュラム改革 11-55

(6) 久山町研究 50 年	11-58
(7) 病院地区フレームワークプラン	11-59
(8) 広がる国際交流	11-60
(9) 創刊百余年の歴史刻む『福岡医学雑誌』	11-61

第 6 章 講座教室

第 1 節 発生再生医学分野 (旧解剖学第一講座)

系統解剖学分野 (旧解剖学第一講座)

形態機能形成学分野 (旧解剖学第二講座)

神経形態学分野 (旧解剖学第三講座)

(1) 沿革	11-63
(2) 教育、研究の推移、特色	11-65
(3) 人体解剖実習	11-68

第 2 節 統合生理学分野 (旧生理学第一講座)

(1) 沿革	11-69
(2) 主要研究業績および研究の動向	11-71
(3) 建物の変遷	11-73

第 3 節 分子生理学分野 (旧生理学第二講座)

(1) 沿革	11-74
(2) 歴代教授とその研究	11-75

初代教授板垣政参 (1918 年～1943 年) 第 2 代教授瀬尾愛三郎

(1943 年～1958 年) 第 3 代教授後藤昌義 (1959 年～1985 年)

第 4 代教授野間昭典 (1987 年～1993 年) 第 5 代教授赤池紀生 (1993

年～2003 年) 第 6 代教授大木研一 (2010 年～)

(3) 建築物の変遷	11-77
------------------	-------

第 4 節 医化学分野 (旧生化学第一講座)

11-78

(1) 沿革	11-78
(2) 研究状況	11-79
(3) 建物の変遷	11-82
第5節 生化学分野 (旧生化学第二講座)	11-82
(1) 沿革	11-82
(2) 建物の変遷	11-83
第6節 病理病態学分野 (旧病理学第一講座)	
形態機能病理学分野 (旧病理学第二講座)	11-84
(1) 沿革	11-84
(2) 教室の変遷	11-89
(3) 病理解剖・組織検査	11-90
(4) “田原結節”の発見について	11-91
第7節 細菌学分野 (旧細菌学講座)	11-92
(1) 沿革	11-92
(2) 歴代教授とその研究	11-93
初代教授小川政修 第2代教授戸田忠雄 第3代教授武谷健二	
第4代教授天児和暢 第5代教授吉田眞一	
第8節 ウイルス学分野 (旧ウイルス学講座)	11-96
(1) 沿革	11-96
(2) 研究状況	11-97
(3) 建物の変遷	11-97
(4) 教室で担当した主な学会および学術賞	11-97
教室で担当した主な学会 学術賞	
第9節 感染免疫・熱帯医学分野 (旧寄生虫学講座)	11-98
第10節 基礎放射線医学分野	
(旧放射線基礎医学講座)	11-100

(1) 沿革	11-100	
(2) 研究の状況	11-101	
(3) 建物の変遷	11-102	
第 11 節 生体情報薬理学分野 (旧薬理学講座)	11-102	
(1) 沿革	11-102	
(2) 建物の変遷	11-106	
(3) 教室で主催した主な学会	11-106	
第 12 節 臨床薬理学分野 (旧臨床薬理学講座)	11-107	
(1) 沿革	11-107	
(2) 研究	11-107	
(3) 建物	11-109	
第 13 節 環境医学分野 (旧衛生学講座)	11-109	
(1) 沿革	11-109	
(2) 研究の動向	11-111	
第 14 節 予防医学分野 (旧公衆衛生学講座)	11-113	
(1) 沿革	11-113	
(2) 研究の動向	11-114	
(3) 学会および受賞	11-115	
学会など	受賞	
第 15 節 法医学分野 (旧法医学講座)	11-116	
(1) 沿革	11-116	
(2) 歴代教授とその研究	11-117	
初代教授高山正雄	第 2 代教授藤原教悦郎	第 3 代教授北条春光
第 4 代教授牧角三郎	第 5 代教授永田武明	第 6 代教授池田典昭
第 16 節 医療情報学分野	11-120	
(1) 沿革	11-120	

(2) これからの医療情報学	11-122
第 17 節 医療システム学分野	
(旧医療システム学講座)	11-123
(1) 沿革	11-123
(2) 研究の動向	11-123
(3) 社会貢献	11-124
第 18 節 病態修復内科学分野 (旧内科学第一講座)	11-124
(1) 沿革	11-124
(2) 歴代教授とその研究	11-125
第 19 節 病態機能内科学分野 (旧内科学第二講座)	11-128
(1) 沿革	11-128
(2) 研究の動向	11-130
(3) 久山町研究	11-132
第 20 節 病態制御内科学分野 (旧内科学第三講座)	11-133
(1) 沿革	11-133
(2) 歴代教授とその研究	11-133
初代教授小野寺直助 (1916 年～1943 年)	第 2 代教授澤田藤一郎
(1943 年～1958 年)	第 3 代教授榊屋富一 (1958 年～1970 年)
第 4 代教授井林博 (1971 年～1987 年)	第 5 代教授名和田新 (1988
年～2005 年)	第 6 代教授高柳涼一 (2006 年～)
第 21 節 精神病態医学分野 (旧神経精神医学講座)	11-137
(1) 沿革	11-137
(2) 子どものこころの診療部	11-140
(3) デイケア	11-141
(4) 建物の変遷	11-141
第 22 節 心身医学分野 (旧精神身体医学講座)	11-142

(1) 沿革	11-142
(2) 研究の動向	11-143
第 23 節 感染環境医学分野	11-144
(1) 沿革	11-144
(2) 研究の動向	11-145
第 24 節 生殖病態生理学分野	
(旧婦人科学産科学講座)	11-146
(1) 沿革	11-146
(2) 歴代教授とその研究	11-147
初代教授高山尚平 (1905 年 4 月～1906 年 10 月) 第 2 代教授今	
淵恒寿 (1910 年 5 月～1925 年 8 月) 第 3 代教授白木正博 (1926	
年 10 月～1936 年 5 月) 第 4 代教授馬屋原茂 (1936 年 12 月～1946	
年 7 月) 第 5 代教授木原行男 (1947 年 3 月～1958 年 3 月) 第	
6 代教授古賀康八郎 (1958 年 10 月～1968 年 4 月) 第 7 代教授滝	
一郎 (1968 年 9 月～1981 年 4 月) 第 8 代教授中野仁雄 (1982	
年 3 月～2005 年 3 月) 第 9 代教授和氣徳夫 (2008 年 4 月～2012	
年 3 月)	
第 25 節 成長発達医学分野 (旧小児科学講座)	11-150
(1) 沿革	11-150
(2) 歴代教授とその研究	11-150
初代教授伊東祐彦 (1904 年～1927 年) 第 2 代教授箕田貢 (1927	
年～1942 年) 第 3 代教授遠城寺宗徳 (1942 年～1961 年) 第	
4 代教授永山徳郎 (1962 年～1972 年) 第 5 代教授合屋長英 (1973	
年～1983 年) 第 6 代教授植田浩司 (1984 年～1996 年) 第 7	
代教授原寿郎 (1996 年～)	
(3) 出身者概況	11-153

(4) 建物の変遷	11-153
第 26 節 小児外科学分野 (旧小児外科学講座)	11-154
(1) 沿革	11-154
(2) 現在の小児外科学分野	11-155
第 27 節 臨床・腫瘍外科学分野 (旧外科学第一講座)	11-156
(1) 沿革	11-156
(2) 研究の動向	11-158
初代教授三宅速 第 2 代教授赤岩八郎 第 3 代教授石山福二郎	
第 4 代教授三宅博 第 5 代教授西村正也 第 6 代教授中山文夫	
第 7 代教授田中雅夫	
(3) 施設の設備	11-159
第 28 節 消化器・総合外科学分野	
(旧外科学第二講座)	11-160
(1) 沿革	11-160
(2) 研究の動向	11-160
大森外科時代 中山外科時代 後藤外科時代 友田外科時代	
井口外科時代 杉町外科時代 前原外科時代	
(3) 施設の整備	11-163
第 29 節 整形外科学分野 (旧整形外科学講座)	11-164
(1) 沿革	11-164
(2) 歴代教授とその研究	11-164
住田正雄教授 神中正一教授 天児民和教授 西尾篤人教授	
杉岡洋一教授 岩本幸英教授	
第 30 節 皮膚科学分野 (旧皮膚科学講座)	11-169
(1) 沿革	11-169
(2) 研究の動向	11-170

第 31 節 泌尿器科学分野（旧泌尿器科学講座）	11-173
(1) 沿革	11-173
(2) 歴代教授の研究と業績	11-174
初代教授高木繁（1924 年～1942 年）	第 2 代教授富川梁次（1942 年～1963 年）
第 3 代教授百瀬俊郎（1963 年～1983 年）	第 4 代教授熊澤浄一（1984 年～1998 年）
第 5 代教授内藤誠二（1998 年～）	
(3) 機関誌の発行	11-176
(4) 施設の整備	11-177
第 32 節 眼科学分野（旧眼科学講座）	11-177
(1) 沿革	11-177
(2) 歴代教授と研究の動向	11-178
初代教授大西克知	第 2 代教授庄司義治
第 3 代教授田村茂美	第 4 代教授生井浩
第 5 代教授谷口慶晃	第 6 代教授猪俣孟
第 7 代教授石橋達朗	
第 33 節 耳鼻咽喉科学分野（旧耳鼻咽喉科学講座）	11-181
(1) 沿革	11-181
(2) 建物の変遷	11-184
第 34 節 臨床放射線科学分野（旧放射線科学講座）	11-185
(1) 沿革	11-185
(2) 研究の動向	11-187
(3) 施設の整備	11-188
(4) 主催学会	11-189
第 35 節 麻酔・蘇生学分野（旧麻酔・蘇生学講座）	11-189
(1) 沿革	11-189
(2) 研究の動向	11-191

第 36 節 臨床検査医学分野（旧臨床検査医学講座）	11-192
(1) 沿革	11-192
(2) 研究の歴史	11-192
赤血球バンド 3 蛋白質の構造と機能	血栓性素因の遺伝解析
トピーの分子機構	ミトコンドリア機能の維持機構と活性酸素
(3) 主要人事（附属病院検査部教員を含む）	11-194
第 37 節 発達病態医学分野	11-194
第 38 節 分子病態学分野	11-194
第 39 節 老年医学分野	11-195
(1) 沿革	11-195
(2) 研究の動向	11-195
(3) 施設の整備	11-196
第 40 節 腫瘍制御学分野	11-197
(1) 沿革	11-197
(2) 研究状況	11-198
第 41 節 災害・救急医学分野	11-199
(1) 沿革	11-199
(2) 研究活動および社会活動	11-199
医療支援ロボットとロボティックシステムの開発	トレーニングシ
ステムの開発と実践	臓器不全に関する基礎的研究
災害医療シ	ステムの構築
第 42 節 医用工学分野	11-201
第 43 節 細胞工学講座（旧細胞工学講座）	11-203
(1) 沿革	11-203
(2) 研究の概要	11-203
西本教授時代	近藤教授時代

第 44 節	性差生物学講座（旧機能高分子設計学講座）	…11-205
(1)	沿革	…11-205
(2)	研究の動向	…11-206
	シトクロム P450 の分子生物学 オルガネラ形成機構 性差生物学	
第 45 節	医療経営・管理学講座（分野）	…11-207
(1)	沿革	…11-207
(2)	教育	…11-208
(3)	研究の動向	…11-208
(4)	社会的貢献	…11-209
第 46 節	医学教育学講座	
	（旧統合教育研究実習センター）	…11-209
(1)	沿革	…11-209
(2)	教育と研究	…11-210
(3)	国際交流・社会連携・学内の活動	…11-211
第 7 章	附属研究施設	…11-212
第 1 節	呼吸器内科学分野	
	（附属胸部疾患研究施設・内科部門）	…11-212
(1)	沿革	…11-212
(2)	研究の流れ	…11-213
第 2 節	附属心臓血管研究施設・沿革	…11-214
第 3 節	循環器内科学分野	
	（附属心臓血管研究施設・内科部門）	…11-217
(1)	循環器内科の創設期および発展期	…11-217
(2)	今日の循環器内科	…11-218
(3)	さらなる発展を目指して	…11-218

第4節 循環器外科学分野

(附属心臓血管研究施設・外科部門) ……11-219

- (1) 循環器外科の創設期および発展期 ……11-219
- (2) 今日の循環器外科 ……11-220
- (3) 今後の発展 ……11-220

第5節 分子細胞情報学分野

(附属心臓血管研究施設・分子細胞情報学部門) ……11-221

- (1) 沿革 ……11-221
- (2) 教員の人選・着任 ……11-222
- (3) 研究の動向 ……11-222
- (4) 施設の変遷 ……11-223

第6節 附属脳神経病研究施設・沿革 ……11-223

第7節 臨床神経生理学分野

(附属脳神経病研究施設・臨床神経生理部門) ……11-225

- (1) 沿革 ……11-225
- (2) 研究状況 ……11-226
- (3) 建物の変遷 ……11-227
- (4) 学会・シンポジウム ……11-227

第8節 神経病理学分野

(附属脳神経病研究施設・病理部門) ……11-228

- (1) 沿革 ……11-228
- (2) 研究状況 ……11-228
- (3) 建物の変遷 ……11-229
- (4) 学会等 ……11-229

第9節 神経内科学分野

(附属脳神経病研究施設・内科部門) ……11-230

- (1) 沿革11-230
- (2) 研究の動向11-231
- (3) 施設の整備11-232

第 10 節 脳神経外科学分野

(附属脳神経病研究施設・外科部門)11-232

- (1) 沿革11-232
- (2) 研究状況11-233
- (3) 建物の変遷11-234

第 11 節 実験動物学分野 (附属動物実験施設)11-234

- (1) 沿革11-234
- (2) 主要人事11-235
- (3) 研究状況11-236

第 8 章 医学部保健学科

(旧附属学校・医療技術短期大学部)11-237

第 1 節 通史11-237

- (1) 沿革11-237
- (2) 附属学校11-238

附属看護学校 附属診療放射線技師学校 附属衛生検査技師学校

附属助産婦学校

- (3) 医療技術短期大学部11-240

沿革 教育

- (4) 医学部保健学科11-242
- (5) 大学院医学系学府保健学専攻11-242
- (6) 保健学部門・保健学科としての主な活動11-242
- (7) 主要人事11-243

歴代医療技術短期大学部主事 歴代医療技術短期大学部長 歴代

医学部保健学科長 歴代医学研究院保健学部門長

第2節 保健学部門 看護学分野	11-244
(1) 沿革	11-244
(2) 研究状況	11-245
(3) 学術賞および国際交流	11-246
第3節 保健学部門 医用量子線科学分野	11-247
(1) 沿革	11-247
(2) 研究の動向	11-247
(3) 施設と教育設備	11-248
第4節 保健学部門 検査技術科学分野	11-249
(1) 沿革	11-249
(2) 教育	11-249
(3) 研究状況	11-250

第12編 歯学府・歯学部・歯学研究院

第1章 歯学部の創設	12-3
第1節 歯学部の設置	12-3
第2節 講座の増設と歯学部創立30周年	12-4
第3節 大学院重点化と組織改編	12-5
第4節 任期制の導入	12-6
第2章 歯学部附属病院の創設と変遷	12-9
第1節 歯学部附属病院の設置と拡充	12-9
第2節 九州大学病院への統合	12-11
第3章 施設・設備の変遷	12-14
第1節 創設当時の施設・設備	12-14
第2節 歯学研究院基礎棟の改修工事	12-15

第3節	歯学部附属病院の臨床研究棟への改修工事	12-17
第4章	研究の系譜	12-18
第5章	教育制度の変遷	12-20
第1節	学部教育の変遷	12-20
第2節	学府教育の変遷	12-22
第6章	歯学部ならびに歯学部附属病院事務組織の 変遷	12-23
第1節	歯学部事務部	12-23
第2節	歯学部附属病院事務部	12-23
第3節	一元化後の歯学部事務部	12-24
(1)	歯学部および歯学部附属病院事務部の一元化	12-24
(2)	一元化後の事務部の変遷	12-24
第7章	講座史	12-27
第1節	分子口腔解剖学分野（旧口腔解剖学第一講座 および旧口腔解剖学第二講座）	12-27
(1)	講座の創設	12-27
(2)	初期の口腔解剖学第一講座と口腔解剖学第二講座	12-27
(3)	口腔解剖学第一講座	12-28
	研究内容	
(4)	口腔解剖学第二講座	12-29
	研究内容	
(5)	現在の口腔解剖学第一講座・口腔解剖学第二講座	12-31
	研究内容	
第2節	口腔細胞工学分野（旧口腔生化学講座）	12-33
(1)	口腔生化学講座の創設	12-33
(2)	初期の口腔生化学講座（尾上薫教授時代）	12-33

研究内容	
(3) 2代目教授・古賀敏生教授時代の口腔生化学講座	12-34
研究内容	
(4) 平田雅人教授時代の生化学講座・口腔細胞工学分野	12-36
研究内容	
第3節 口腔機能分子科学分野（旧歯科薬理学講座）	12-37
(1) 歯科薬理学講座の創設	12-37
(2) 初期の歯科薬理学講座（初代教授・勝田教授時代）	12-37
(3) 2代目教授・山本教授時代の歯科薬理学教室・ 口腔機能分子科学分野	12-38
(4) 中西教授時代の口腔機能分子科学分野	12-39
研究内容	
第4節 加齢口腔科学分野	12-41
(1) 加齢口腔科学分野の創設	12-41
研究の動向	
(2) 加齢口腔科学分野の廃止	12-42
第5節 口腔機能解析学分野（旧口腔生理学講座）	12-43
(1) 口腔生理学講座の創設	12-43
(2) 初期の口腔生理学講座（栗山熙教授時代）	12-43
研究内容	
(3) 2代目教授・太田雅博教授時代の口腔生理学講座	12-44
研究内容	
(4) 現在の口腔生理学講座・口腔機能解析学分野	12-46
研究内容	
第6節 口腔予防医学分野 （旧口腔細菌学講座、旧予防歯科学講座）	12-48

(1) 口腔細菌学講座の沿革	12-48
(2) 予防歯科学講座の沿革	12-51
第7節 小児口腔医学分野（旧小児歯科学講座）	12-54
(1) 小児歯科学講座の創設	12-54
(2) 初期の小児歯科学講座	12-54
(3) 現在の小児歯科（小児口腔医学）	12-55
(4) 研究の動向	12-56
第8節 歯科矯正学分野（旧歯科矯正学講座）	12-57
(1) 歯科矯正学講座の創設	12-57
(2) 初期の歯科矯正学講座	12-57
(3) 現在の歯科矯正学分野	12-58
(4) 施設の整備	12-59
(5) 研究の動向	12-59
第9節 生体材料学分野（旧歯科理工学講座）	12-60
(1) 歯科理工学講座の創設	12-60
(2) 初期の生体材料学分野	12-61
(3) 現在の生体材料学分野	12-61
(4) 研究内容	12-62
第10節 歯科保存学分野（旧歯科保存学第二講座）	12-62
(1) 歯科保存学分野の沿革	12-62
(2) 研究の動向	12-63
(3) 施設の整備	12-64
第11節 歯周病学分野（旧歯科保存学第一講座）	12-65
(1) 歯科保存学第一講座の創設	12-65
(2) 初期の歯科保存学第一講座	12-65
(3) 現在の歯周病学分野	12-66

(4) 施設の整備 12-67

(5) 研究の動向 12-67

第 12 節 クラウンブリッジ補綴学分野

(旧歯科補綴学第一講座) 12-68

(1) 歯科補綴学第一講座の創設 12-68

(2) 初期の歯科補綴学第一講座 12-68

(3) 現在のクラウンブリッジ補綴学分野 12-68

第 13 節 インプラント・義歯補綴学分野

(旧歯科補綴学第二講座) 12-69

(1) 初期の歯科補綴学第二講座 12-69

(2) 現在のインプラント・義歯補綴学分野 12-70

(3) 研究の動向 12-72

末次恒夫教授時代：1971～1996 年 古谷野潔教授時代：1997 年～

第 14 節 口腔病理学分野

(旧口腔病理学講座、旧口腔解剖第二講座) 12-73

(1) 口腔病理学講座の創設 12-73

(2) 初期の口腔病理学講座 12-73

(3) 教員の動向と現在の口腔病理学研究分野の構成 12-74

(4) 研究ならびに病理診断業務 12-75

研究内容 病理診断

第 15 節 口腔画像情報科学分野

(旧歯科放射線学講座) 12-76

(1) 歯科放射線学講座の創設 12-76

(2) 初期の歯科放射線学講座 12-77

(3) 現在の口腔画像情報科学分野 12-78

(4) 施設の整備 12-78

(5) 研究の動向	12-79
第16節 口腔顎顔面外科学分野	
(旧口腔外科学第二講座)	12-80
(1) 口腔外科学第二講座の創設	12-80
(2) 初期の口腔外科学第二講座	12-81
(3) 現在の口腔顎顔面外科学分野	12-83
第17節 顎顔面腫瘍制御学分野	
(旧口腔外科学第一講座)	12-84
(1) 口腔外科第一講座の創設	12-84
(2) 初期の歯科学口腔外科学講座	12-85
(3) 歯学部口腔外科学講座の創設	12-86
(4) 初期の口腔外科学第一講座	12-87
(5) 現在の顎顔面腫瘍制御学分野	12-87
第18節 歯科麻酔学分野	12-88
(1) 創設と沿革	12-88
(2) 臨床と研究	12-89

第13編 薬学府・薬学部・薬学研究院

第1章 薬学部・薬学府・薬学研究院通史	13-3	
第1節 医学部薬学科の創設	13-3	
第2節 薬学部の創設	13-6	
第3節 大学院の創設から大学院重点化	13-12	
第4節 薬学研究院沿革	13-15	
薬剤病理学分野	薬効評価学分野	薬剤疫学分野・分子構造解析
学分野	漢方医薬学講座	生体レドックス医薬化学客員講座
プロテアーゼ疾患制御学客員講座	革新的バイオ医薬創成学客員講	

座		
第 5 節	6 年制薬剤師育成に伴う制度改革	13-19
第 6 節	国立大大学法人化後の研究体制	13-20
第 2 章	分野（講座）史	13-25
第 1 節	薬用資源制御学分野 （薬学第一講座／生薬学講座）	13-25
第 2 節	分子衛生薬学分野（薬学第二講座／ 衛生裁判化学講座／衛生化学・裁判化学講座）	13-28
第 3 節	蛋白質創薬学分野（薬学第三講座／薬品製造 工学講座／免疫薬品学講座／免疫薬品学分野）	13-31
第 4 節	機能分子合成化学分野 （薬学第四講座／薬化学講座）	13-34
第 5 節	生体分析化学分野 （薬学第五講座／薬品分析化学講座）	13-37
第 6 節	薬品製造化学分野 （薬学第六講座／薬品製造化学講座）	13-40
第 7 節	薬剤学分野（薬学第七講座／薬剤学講座／ 製剤設計学講座／製剤設計学分野）	13-43
第 8 節	細胞生物薬学分野（生理化学講座）	13-46
第 9 節	機能分子解析学分野（薬品物理化学講座）	13-49
第 10 節	薬理学分野（薬品作用学講座／薬理学講座／ 薬効解析学分野）	13-53
第 11 節	医薬細胞生化学分野 （植物薬品化学講座／医薬資源探索学分野）	13-54
第 12 節	分子生物薬学分野（微生物薬品化学講座）	13-57
第 13 節	環境調和創薬化学分野（放射性薬品化学講座	

	／病態分子認識化学分野) …	13-60
第 14 節	薬物動態学分野 (薬物動態学講座) ……………	13-64
第 15 節	生物有機合成化学分野 (薬剤疫学分野) ……………	13-67
第 16 節	薬効安全性学分野 (薬物中毒学分野) ……………	13-71
第 17 節	病態生理学分野 ……………	13-72
第 18 節	医薬品情報解析学分野 ……………	13-73
第 19 節	臨床育薬学分野 (薬剤疫学分野) ……………	13-75
第 20 節	創薬育薬産学官連携分野 ……………	13-77
第 21 節	システム創薬学分野 ……………	13-79
第 22 節	化学療法分子制御学分野 (連携講座) ……………	13-80
第 23 節	薬物送達システム学分野 (連携講座) ……………	13-81
第 24 節	創薬腫瘍科学講座 (寄附講座) ……………	13-83
第 3 章	附属薬用植物園 ……………	13-85
第 1 節	沿革 ……………	13-85
第 2 節	施設概要 ……………	13-85
第 3 節	研究実績 ……………	13-86
第 4 節	教育実績 ……………	13-87
第 5 節	社会貢献 ……………	13-87

第 14 編 工学府・工学部・工学研究院

第 1 章	工学部通史 ……………	14-3
第 1 節	創設・戦前期 ……………	14-3
(1)	大学創設の社会背景 ……………	14-3
	工学専門教育の開始 帝国大学の創立	
(2)	九州帝国大学設置の運動と設置にいたるまでの経緯 ……………	14-6
	九州帝国大学設置運動と福岡医科大学の設置 工科大学設置の決定	

(3) 九州帝国大学工科大学の設置	14-9
(4) 九州帝国大学工学部の設置	14-14
(5) 昭和前期の工学部	14-16
第2節 戦時・戦後期	14-18
(1) 戦時下の学園	14-18
戦時体制と工学部 附属学校・研究所の増設	
(2) 戦後の学制改革	14-22
第3節 新制大学発足期	14-24
(1) 新制九州大学の発足	14-24
(2) 九州大学工学部の変遷	14-26
第4節 高度成長期	14-27
(1) 第2次世界大戦後の高度成長と社会情勢	14-27
(2) 九州大学における学生運動の遷移	14-29
戦後初期の学生運動 大学紛争	
(3) 高度成長と大学の組織改革	14-32
工学部の拡充 大学院総合理工学研究科の設置	
第5節 大学院の重点化	14-35
(1) 重点化の背景	14-35
(2) 九州大学工学研究科の重点化への取組み	14-37
(3) 重点化の実施内容	14-45
(4) 重点化に関わる点検評価	14-48
第6節 国立大学法人化と大学移転	14-49
(1) 国立大学法人化	14-49
法人化に向けての取組み 法人化の成果と課題	
(2) 大学移転	14-53
工学系地区基本設計 工学系の移転	

第2章 地球環境系学科	14-59
第1節 土木系学科	14-59
(1) 総説	14-59
(2) 学科・専攻の変遷	14-61
(3) 教育・研究活動について	14-63
教育 研究	
(4) 卒業生の活躍・同窓会	14-69
第2節 資源工学科	14-72
(1) はじめに	14-72
(2) 学科・専攻の変遷	14-75
(3) 資源工学科の教育活動	14-79
(4) 資源工学科の研究活動	14-82
(5) 卒業生の活躍・同窓会	14-85
第3節 造船系学科	14-87
(1) はじめに	14-87
(2) 学科・専攻の変遷	14-88
(3) 教育・研究の活動状況	14-91
人材育成の目標 学生定員など 教育・研究体制 主要設備	
特筆すべき教育	
(4) 卒業生の活躍・同窓会	14-97
第4節 地球環境工学科	14-99
(1) はじめに	14-99
(2) 建設都市工学コース	14-100
(3) 地球システム工学コース	14-100
(4) 船舶海洋システム工学コース	14-101
第3章 機械航空工学科	14-102

第1節 機械系学科	14-102
(1) はじめに	14-102
(2) 学科・専攻の変遷	14-103
学科創設期	戦時下における学科体制
終戦からの復興と経済成長	成長飽和期から組織の改組改革へ
(3) 教育研究活動について	14-113
学部学科と大学院専攻の構成と時代背景	機械系の実学教育とユニークな科目・活動
研究実績に裏付けられた高度な教育	
(4) 卒業生の活動・同窓会	14-124
工学部同窓会と機械系における同窓会活動	機械系学科創立百周年記念大同窓会
第2節 航空系学科	14-128
(1) はじめに	14-128
(2) 学科・専攻の変遷	14-129
(3) 教育・研究活動について	14-134
人材育成の目標	学生定員など
教育・研究体制	主要設備
特筆すべき教育研究	
(4) 卒業生の活躍・同窓会	14-138
第3節 機械航空工学科	14-141
(1) はじめに	14-141
(2) 学科の変遷	14-142
(3) 専攻・部門の変遷	14-143
(4) 教育・研究活動について	14-146
機械系の教育活動について	機械系の研究活動について
航空系の教育活動について	航空系の研究活動について
(5) 卒業生の活動・同窓会	14-153

第4章 電気電子情報系学科	14-155
第1節 電気工学科	14-155
(1) 総説	14-155
(2) 学科・専攻の変遷	14-155
旧制帝国大学時代 新制大学への移行と高度成長への対応 大学 院重点化への流れ	
(3) 教育活動	14-162
旧制帝国大学時代 新制大学時代	
(4) 研究活動	14-165
旧制帝国大学時代 1945年から1964年 1965年から1980年 1980年から1996年	
(5) 卒業生の活躍・同窓会	14-167
卒業生数 卒業生の進路 電気工学科同窓会	
第2節 電子工学科	14-169
(1) 総説	14-169
(2) 学科・専攻の変遷	14-169
学科の創設 大学院重点化への流れ	
(3) 教育活動	14-172
(4) 研究活動	14-174
(5) 卒業生の活躍・同窓会	14-177
卒業生数 卒業生の進路 電気工学科同窓会	
第3節 情報系学科	14-179
(1) 総説	14-179
(2) 学科・専攻の変遷	14-180
通信工学科時代 通信工学科から情報工学科へ 知能システム工	

学コースの設置 大学院専攻の開設と大学院学生定員の変遷 教
育用電子計算機システムの変遷

(3) 教育14-187

(4) 研究14-190

(5) 卒業生の活躍・同窓会14-194

第4節 電気情報工学科14-196

(1) 総説14-196

(2) 学科の変遷14-196

(3) 教育活動14-197

(4) 卒業生の活躍・同窓会14-199

第5章 物質科学系学科14-200

第1節 応用科学系学科14-200

(1) 応用化学科14-200

学科・専攻の変遷 教育・研究活動について 卒業生の活躍・同
窓会

(2) 合成化学科14-205

学科・専攻の変遷 教育・研究活動について 卒業生の活躍・同
窓会

(3) 応用物質化学科14-210

学科・専攻の変遷 教育・研究活動について 卒業生の活躍・同
窓会

第2節 材料系学科14-214

(1) はじめに14-214

(2) 学科・専攻の変遷14-214

(3) 教育・研究活動状況14-218

大学院修士課程への進学率 講座の内容 教育カリキュラム

(4) 卒業生の活躍・同窓会	14-223
第3節 化学機械工学科	14-224
(1) 学科・専攻の変遷	14-224
(2) 教育・研究活動について	14-226
第一講座（工業物理学講座） 第二講座（反応操作学講座） 第	
三講座（単位操作学講座） 第四講座（熱操作学講座） 第五講	
座（流体操作学講座） 第六講座（化学装置設計学講座） 第七	
講座（プロセス制御学講座）	
(3) 卒業生の活躍・同窓会	14-231
第4節 物質科学工学科	14-232
(1) はじめに	14-232
(2) 化学工学部門	14-236
専攻・部門の変遷 教育・研究の活動状況 卒業生の活躍・同窓	
会	
(3) 応用化学部門	14-239
部門内の変遷 教育・研究活動について 卒業生の活躍・同窓会	
(4) 材料工学部門	14-246
学科の沿革 教育・研究の内容 卒業生の活躍・同窓会	
第6章 エネルギー系学科	14-253
第1節 応用原子核工学科・専攻	14-253
(1) 学科創設と初期の教育研究体制	14-253
(2) 学科・専攻の変遷	14-256
(3) 教育・研究の活動と成果	14-259
第一講座（原子核機器工学） 第二講座（放射線計測及び安全工学）	
第三講座（放射線物性工学） 第四講座（核燃料工学） 原子炉	
材料学講座（共通講座） 第五講座（原子力化学工学） 第六講	

座（原子力機械工学） 原子炉工学講座（共通講座） 事務室・
工場・放射性同位元素実験室 研究活動

(4) 卒業生の活躍・同窓会14-263

第2節 エネルギー科学科14-264

(1) 改組の経緯14-264

(2) 教育理念と方針14-265

(3) 教育体制の整備14-266

(4) エネルギー科学科の教育とカリキュラム14-268

(5) 学生生活と実験実習等14-270

(6) 学生の動向と就職・進学14-272

第3節 エネルギー量子工学専攻14-272

(1) 改組の経緯と教育理念14-272

(2) 専攻の体制と変遷14-273

(3) エネルギー量子工学専攻の研究14-276

応用原子核物理・電磁解析 量子線物理計測 原子力エネルギー
システム 原子炉物理及び核融合 量子線物性工学 エネルギー
一創生材料学 物性物理学 応用物理学

(4) 大学院教育カリキュラム14-279

(5) 学生生活と修了生の進路14-281

第7章 建築学科14-282

第1節 総説14-282

第2節 学科・専攻の変遷14-284

設置から改組まで 教育の変遷 主な出来事 将来展望 建
物

第3節 講座の歩み 教育・研究の活動状況14-289

(1) 第一講座（鉄骨構造及び構造力学講座）14-289

(2) 第二講座 (鉄筋コンクリート構造及び構造力学講座) ……	14-292
(3) 第三講座 (耐震・耐風工学講座) ……	14-294
(4) 第四講座 (建築材料学及び建築施工学講座) ……	14-296
(5) 第五講座 (建築環境学講座) ……	14-298
(6) 第六講座 (建築設備計画学講座) ……	14-300
(7) 第七講座 (建築計画学講座) ……	14-302
(8) 第八講座 (都市設計及び都市計画講座) ……	14-305
講座のはじまり (1955～69 年) 都市設計及び都市計画講座時代 (1970～97 年) アーバンデザイン学コース (1998 年～)	
(9) 第九講座 (建築様式史及び建築意匠講座) ……	14-307
第 4 節 卒業生の活躍・同窓会 ……	14-308
第 8 章 工学部共通講座 ……	14-311
第 1 節 応用理学教室 ……	14-311
(1) 概要 ……	14-311
応用理学教室の変遷 応用物理学専攻	
(2) 応用理学教室数学系講座 ……	14-314
(3) 応用理学教室物理系講座 ……	14-316
力学第一講座 力学第二講座 応用物理学講座 物質情報学講 座	
(4) 応用理学教室化学系講座 ……	14-320
第 2 節 原子核工学教室 ……	14-321
(1) はじめに ……	14-321
(2) 教室の変遷 ……	14-322
(3) 教育・研究の活動 ……	14-323
第 3 節 材料強弱学教室 ……	14-325
(1) はじめに ……	14-325

(2) 教室の変遷	14-325
(3) 教育研究活動について	14-326
小野鑑正教授 石橋正教授 西谷弘信教授 石田誠教授 村	
上敬宜教授	
第4節 工業分析化学教室	14-333
(1) 総説 (はじめに)	14-333
(2) 教室の変遷	14-333
(3) 教育・研究の活動	14-334
第5節 一般電気工学教室	14-337
(1) 総説	14-337
(2) 教室の変遷	14-337
(3) 教育・研究の活動	14-338
第6節 化学環境工学教室	14-341
(1) はじめに	14-341
(2) 教室の変遷	14-342
(3) 教育・研究活動	14-342
第7節 図形情報学教室	14-344
(1) 総説	14-344
(2) 教室の変遷	14-344
(3) 教育・研究の活動	14-346
第9章 独立専攻	14-349
第1節 材料開発工学専攻	14-349
(1) はじめに	14-349
(2) 専攻の変遷	14-350
(3) 教育・研究の活動	14-352
第2節 エネルギー変換工学専攻	14-353

(1) はじめに	14-353
(2) 専攻の変遷	14-353
(3) 教育・研究活動について	14-356
第 3 節 分子工学専攻	14-357
(1) 設立まで	14-357
(2) 前半の 10 年	14-359
(3) 後半の 20 周年まで	14-359
(4) 総合理工学研究科の改組にともなう専攻の廃止	14-361
第 4 節 熱エネルギーシステム工学専攻	14-361
(1) 総説	14-361
(2) 専攻の変遷	14-363
(3) 教育・研究の活動	14-364
第 10 章 附属工業専門部	14-365
第 1 節 設置の経緯	14-365
第 2 節 附属工業専門部	14-366
第 3 節 附属工業専門部の廃止	14-367
第 11 章 工業教員養成所	14-369
第 1 節 はじめに	14-369
第 2 節 九州大学工業教員養成所	14-370
第 3 節 工業教員養成所の廃止	14-370
第 12 章 分析機器センター	14-372
第 1 節 はじめに	14-372
第 2 節 センターの変遷	14-373
第 13 章 超伝導科学研究センター／超伝導マグネッ ト研究センター／超電導マグネット研究セ ンター	14-376

第1節	はじめに	14-376
第2節	センターの変遷	14-376
第3節	教育・研究の活動	14-378
第14章	工学部附属地熱開発センターおよび九重地熱火山研究観測ステーション	14-381
第1節	概要	14-381
第2節	研究活動	14-381
第3節	国際地熱研修コース	14-385
第15章	工学研究院附属循環型社会システム工学研究センター / 附属環境システム科学研究センター / 附属環境システム工学研究センター	14-386
第1節	はじめに	14-386
第2節	センターの変遷	14-386
	(1) 附属環境システム工学研究センター	14-386
	(2) 附属環境システム科学研究センターの設置	14-387
	(3) 附属循環型社会システム工学研究センターの設置	14-388
第3節	教育・研究の活動	14-390
	(1) 附属環境システム工学研究センター	14-390
	(2) 附属環境システム科学研究センター	14-391
	(3) 附属循環型社会システム研究センター	14-391
第16章	ものづくり工学教育研究センター	14-393
第1節	はじめに	14-393
第2節	センターの変遷	14-393
第3節	教育・研究の活動	14-394
	(1) 産学連携製造中核人材育成事業(2005年～)	14-394

(2) 社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業 (2007～2010年)	14-395
(3) アジア人財資金構想高度専門留学生育成事業(2008年～)	14-396

執筆者一覧

図表一覧